

みやぎ登米農業協同組合（代表理事組合長 石川 信喜）

主な輸出先国	香港、シンガポール等（2023年）	輸出実績	3,560t（2023年）
対象となる地域	宮城県登米市		

輸出産地の概況

- ・輸出用米の取組は、主食用米の消費減少による生産調整の強化の中、外国人観光客による日本食への高い評価や、海外における日本食レストランの増加等もあり、農家所得の向上と将来の販路拡大を見据え、平成29年に大手コメ卸の提案をきっかけに開始。



環境保全米の圃場



平成30年産輸出用米出発式

輸出に向けた規制・ニーズに対応した生産・流通の取組

- ・輸出事業者との複数年契約を締結し、数量の安定生産、安定供給を図っている。
- ・低価格で安定した品質のコメを供給するため、多収性品種の導入により低コスト生産に取り組んでいる。また、担い手経営体の大規模化や農地の集約化により、単位面積当たりのコスト低減に取り組んでいる。



香港スーパーでの販売風景



香港視察

アピールポイント

- ★平成15年より「環境保全米運動」に取り組んでおり、「環境保全米」を含めた「特別栽培米」の作付割合は全体の8割の規模となっている。